

■義真 僧。修禪大師。最澄の一番弟子であると主張して座主職を継ぎ、天台宗の発揚に尽くした。

ぎしん

桓武天皇即位 781= 生。相模国出身。俗姓は丸子連、或いは丸部連とも伝える。

..... 790= 9歳 :

初め比叡山の最澄のもとに学び、最澄が大安寺に住したあいだ、ともに奈良にあって、興福寺慈蔵から法相宗を学び、鑑真の法系の戒律を学んだという。

平安京遷都・ 794=13歳 :

遣新羅使停止 799=18歳 :

東大寺慈賢に唐語をならっていたらしく、

胆沢城設置・ 802=21歳 : 最澄が入唐に際し、訳語僧として義真を同行させたいと上奏。

最澄空海渡唐 804=23歳 : \*最澄とともに入唐し、明州から天台山に学ぶ。国清寺において清輪を戒和上に乞い、具足戒を受け、大僧・比丘となったことが、「頭戒論縁起」に載る「大唐受具足戒僧義真戒牒」によって知られる。のち、最澄とともに道遠から菩薩戒を受け、

大事業中止・ 805=24歳 : 越州の順暁から密教を受法するなど、最澄はつねに義真とともに受法し、法の伝承に万全を期そうとしたようである。最澄とともに帰国した義真の消息は途切れるが、

桓武天皇没・ 806=25歳 :

..... 808=27歳 :

葉子の変・ 810=29歳 :

..... 812=31歳 :

\*最澄が身体不調のため、後事を円澄に付する「弘仁三年遺書」を発すると、ただちに故郷の相模国から比叡山に帰り、最澄門下第一位を主張したようである。

..... 817=36歳 :

最澄没..... 822=41歳 : \*最澄入滅ののち、最澄念願の菩薩戒建立を果たしてその伝戒師を務め、のち座主職となる伝法師をつぎ、

嵯峨上皇..... 823=42歳 :

..... 826=45歳 :

..... 830=49歳 : 淳和天皇が仏教諸宗に宗義の肝要を著述させた折には、「天台法華宗義集」を著わし、

..... 832=51歳 : \*初代延暦寺座主に任じられ、天台宗初の興福寺維摩会講師になるなど、天台宗の発揚に尽くしたが、

..... 833=52歳 : 退隠していた修禪院で寂した。